

東京大学大学院農学生命科学研究科
 応用生命化学専攻 教授 公募

1	職名	教授
2	募集人数	1名
3	採用予定日	令和5年12月1日以降のできるだけ早い時期
4	任期	なし
5	勤務地	東京都文京区弥生1-1-1 弥生キャンパス
6	所属□	大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻
7	業務内容	1) 研究領域：農芸化学および関連分野に貢献する生物活性物質化学 2) 担当予定講義・演習： (学部) 有機化学・天然物化学関連講義、農芸化学概論Ⅰ・Ⅱ、生命化学・生命工学実習、 生命化学・生命工学実験 (大学院) 有機化学・天然物化学関連講義、生命化学フロンティアⅠ・Ⅱ、応用生命化学特別実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、応用生命化学演習、応用生命化学特別演習ほか
8	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
9	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
10	給与	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考 博士修了 34万円/月～ 諸手当、賞与（年2回）、通勤手当（原則55,000円/月まで）の他、本学の定めるところによる。
11	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
12	応募資格□	1) 博士号取得者（または採用日までに取得見込の者） 2) 優れた研究業績ならびに教育能力を有し、学生の教育指導等を、熱意をもって積極的に行えること 3) 生物活性物質を研究対象として、生物個体内外の諸現象のメカニズムを解明するとともに、化学を基盤技術としてその制御を可能とし、食・生命・環境に関する諸問題の解決に貢献する革新的で最先端の研究を展開できること 4) 上記7の講義・演習を担当可能なこと
13	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html 2) 研究業績目録 公表された原著論文、著書、総説、招待講演、特許、その他（本人にアンダーライン、コレスポন্ディングオーサーに*を記すこと） 3) 教育業績目録（担当講義科目、非常勤講師等） 4) 社会貢献目録（学会活動、委員会活動等） 5) 競争的資金の獲得状況（過去10年程度） 6) 主要論文の別刷（あるいはPDFのプリントアウト）、10編以内（各論文の独創的な点、注目すべき点、本人の寄与等を含めた概要（日本語）を添付すること。） 7) これまでの研究の自己評価（意義付け）と東京大学大学院農学生命科学研究科における研究の方針ならびに抱負（4000字以内） 8) 東京大学大学院農学生命科学研究科における学部学生・大学院生の指導方針（2000字以内） 9) 応募者に関する参考意見を問い合わせることのできる方2名の氏名・連絡先（住所、電話、メールアドレス等）
14	応募締切	令和5年8月21日（月）必着 書類選考の上、合格者に対し面接を実施します。
		〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

15	書類送付先 及び 問い合わせ先	<p>東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 担当：永田宏次 TEL：03-5841-1117 E-mail：aknagata[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp（[at]は@に置き換えてください） 封筒に「教授 応募書類在中」と朱書し、記録が残る方法で送付のこと。 また、紙媒体での送付とともに、上記の提出書類を一つのpdfファイルにまとめ、パスワードを設定した上、E-mailで送付のこと。パスワードの連絡法については応募者の判断に任せます。</p>
16	試用期間	採用日から6ヶ月間
17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	<p>応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。 取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。 東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり） 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。 英語の能力を考慮します。 本研究科・学部の概要、学部教育等は下記ホームページを参照して下さい。 http://www.a.u-tokyo.ac.jp/index.html</p>